

政策分析シート（令和7年度）

政策名	伝統文化の継承と都市間交流の推進			政策No	09	部名 部長名	地域文化スポーツ部 中野内線3700				
関連部名	総務企画部										
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市								
目的	区民が主役の芸術文化の振興により生活の質を高め、区の魅力を内外に発信すること、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る。 有形・無形の文化財の保存や、郷土の歴史や地域について学ぶ機会の提供などにより、伝統文化の継承や新たな文化の創造に向かい、地域や区民と一体となって区の文化力を向上させる。										
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文					
			4年度	5年度	6年度						
	①	充実した余暇・文化活動、地域のひととのふれあいの実感	2.45	2.51	2.56	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？					
	②	興味・関心事への取り組み	3.10	3.17	3.17	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？					
	③	生涯学習環境の充実	3.06	3.10	3.13	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？					
	④	地域への愛着	2.87	2.89	2.98	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？					
	⑤	文化的寛容性	2.66	2.68	2.69	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？					
⑥											
⑦											
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明				
			4年度	5年度	6年度	7年度 見込み	目標値 (8年度)				
	①	荒川ふるさと文化館利用者数（人）	16,040	17,122	11,199	14,000	16,000	展示室及び伝統工芸ギャラリー来場者 8年11月改修工事予定			
	②	「伝統技術展」参加職人数（人）	51	53	54	54	66				
	③	文化祭来場者数（人）	9,335	10,906	16,000	11,800	23,000				
	④	地域振興事業来場者数（人）	33,259	39,952	55,000	46,100	55,000	芸術文化振興財団（ACC）が行う芸術文化・地域振興事業			
	⑤	国内交流都市との連携事業数（事業）	21	35	35	37	37	各課で実施している国内交流都市との連携事業数			
⑥	海外都市交流事業参加者数（人）	49	255	280	305	320	区民と外国人が相互交流する事業の合計				
⑦											
行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額	
	行政費用	給与関係費	164,943	164,617	▲ 326	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	355,047	386,435	31,388		国庫支出金	2,806	3,025	219	
		維持補修費	11,511	282,699	271,188		都支出金	1,403	1,513	110	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	170,426	193,499	23,073		使用料及び手数料	3,295	3,749	454	
		減価償却費	150,187	157,393	7,206		その他行政収入	19,290	15,707	▲ 3,583	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	26,794	23,994	▲ 2,800	
		賞与・退職給与引当金繰入額	12,437	16,353	3,916		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 837,757	▲ 1,177,002	▲ 339,245	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2,503	▲ 2,239	264	
		行政費用合計(b)	864,551	1,200,996	336,445		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 840,260	▲ 1,179,241	▲ 338,981	
	特別費用(g)	69	0	▲ 69	特別収入(f)	2,329	0	▲ 2,329			
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	2,260	0	▲ 2,260	当期収支差額(e)+(h)	▲ 838,000	▲ 1,179,241	▲ 341,241			
	貸借対照表	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
		流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		202,616	412,548	209,932
			不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
その他の流動資産			0	0	0	特別区債		194,870	404,962	210,092	
有形固定資産			2,988,838	3,003,139	14,301	賞与引当金		7,746	7,586	▲ 160	
土地			1,642,186	1,642,186	0	その他の流動負債		0	0	0	
固定資産		建物	7,609,268	7,780,273	171,005	固定負債		625,191	205,844	▲ 419,347	
		建物減価償却累計額	▲ 6,268,483	▲ 6,424,447	▲ 155,964	特別区債	559,525	154,564	▲ 404,961		
		工作物等	11,051	11,051	0	退職給与引当金	65,666	51,280	▲ 14,386		
		工作物等減価償却累計額	▲ 5,183	▲ 5,923	▲ 740	その他の固定負債	0	0	0		
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	827,807	618,392	▲ 209,415			
建設仮勘定	54,940	71,716	16,776	正味財産	3,470,249	3,714,319	244,070				
その他の固定資産	1,254,278	1,257,856	3,578	正味財産の部合計	3,470,249	3,714,319	244,070				
資産の部合計	4,298,056	4,332,711	34,655	負債及び正味財産の部合計	4,298,056	4,332,711	34,655				
財務諸表に関する特徴的事項等											
○行政費用として物件費や維持補修費の割合が高く、文化施設の管理運営に係る委託料や改修工事費が主である。 ○その他行政収入は、主に指定管理者利益納付金等である。 ○貸借対照表に計上されている有形固定資産は文化施設に関するものである。日暮里サニーホールの設備等改修工事を行ったため、建物の資産額が増となっている。											

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○区民が優れた芸術文化に身近にふれ、楽しめるよう芸術文化団体、ＡＣＣ、東京藝術大学等と連携して、芸術文化の充実を図っている。 ○国内都市及び海外都市では、イベントへの相互参加、高校生相互派遣など様々な分野において事業を展開している。 ○区に伝わる有形・無形の文化財の保存や活用、伝統工芸技術の継承支援をするとともに、区民に伝統文化のすばらしさを伝えるための展示や体験事業等を行っている。
課題	○子どもから高齢者、障がい者など、誰もが芸術文化に親しむことができる鑑賞環境や体験機会の充実を図る必要がある。 ○国内交流都市それぞれの地域性に応じ、お互いにとって有益な交流を深めていくとともに、海外交流都市については、住民相互の草の根の交流を促進し、区民の関心をより一層広めるとともに、現地とより密に情報交換して友好関係を更に深める必要がある。 ○芸術文化の力によるまちづくりのため、教育、観光、福祉等の分野と一層連携を図るとともに、俳句文化・歴史・伝統工芸技術などの地域の魅力を積極的に発信する必要がある。
今後の方向性	○子どもたちを対象としたアートワークショップやコンサート、障がい者を対象とした芸術文化事業など、誰もが身近な場所で気軽に参加・体験ができる機会を提供する。 ○国内外の都市間交流については、交流を継続し、郷土や地域文化に対する誇りと愛情を深めるとともに、異文化に対する理解を促進していく。 ○先人たちが創り育んできた伝統文化の保存や継承に努めるとともに、時代に即した新たな視点で、伝統と現代性が調和した文化振興を推進していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
芸術文化の振興	重点的に推進	重点的に推進	芸術文化の力を区の施策に活用することにより、地域の活性化や区の情報発信力の強化を目指すとともに、区民が主体となる取組を推進し、より荒川区に根ざした芸術文化の振興を図る。
国内・海外都市との交流の推進	重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。
伝統的文化の保存と継承	重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き重点的に推進する。